

# 校長室から感じたままに No15

## ～ 駅伝大会に向けて ～

2月4日、暦の上では立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いています。

そんな中、インフルエンザが少しずつ流行っているという話を聞きますが、七林小学校の子供たちは今のところ、元気に学校生活を送っています。

1月に入ってから、駅伝大会に向けて多くの高学年の子供たちが練習に参加していました。マラソンは自分との戦いです。自分の記録を縮めようと毎日コツコツと練習に励んだ子供たちは素晴らしいと思います。

朝、昇降口に立っていると、練習終わりに「5秒速くなりました」「30秒速くなりました」と嬉しそうに話をする子供たちの顔は、本当にキラキラしていました。努力したことは必ず力になります。ここで成長した自分に自信をもって、また努力を重ねて行ってほしいと思います。

2月3日の駅伝大会本番に向けて前日に壮行会を行いました。選手に決まった子供たちが大会に向けて決意を話しましたが、頑張っって少しでも速くタスキをつなごうという強い気持ちが伝わってきました。

選手になった子供たちも練習に参加した子供たちもみんなが七林小学校の代表だと思います。

明日は練習したことをすべて出しきって、自分自身が満足できるような一日にしてください。みんなで応援しています。